



表靖二 委員



動画でチェック

◆栗津駅周辺整備費

Q 内容及び今後のスケジュールは。

A 歩道橋や自由通路、ラウンドアバウトの整備等を実施。今年度は用地取得を行い、全体の完成は令和10年度末を目指している。

Q 栗津駅が民衆駅として人が集まる場所となるために、芦原温泉にあるような屋台村を駅周辺に設置しては。

A 自治体の先進事例を研究し、活用できる国や県の補助制度等を調査するとともに、地元の意向も考慮しながら今後検討。

◆市行造林費

Q 事業内容は。

A 枝打ちや利用間伐、付随する作業道の整備に要する業務委託費や森林保険料等。

Q 低炭素社会は国際的な共通課題となっている。市行造林事業の将来は。

A 森林は多目的機能を有する大切な資源として守っていく必要があることから、林業経営体に対する補助や林産組合への活動に対する交付金等の取組を行ってきたところである。今年度から、間伐事業で発生する枝等をバイオマス材料として有効活用するための取組に補助を行う。

Q 森林環境譲与税の交付金の活用について。

A 適正な森林を管理するための森林整備等に活用。

小松志士の会



木村賢治 委員



動画でチェック

◆未来教育推進基金積立金

Q GIGA端末更新にあたりGIGA第1期の総括を文書の形で保護者へ説明して欲しい。

A 何らかの形で保護者に通知したい。

Q GIGA第1期で、端末を安価に調達できる共同調達方式を選択しなかったのはなぜか。

A スムーズに単独で小回りが良く調達を進めるため。

Q これまでの端末の保管体制に問題はないか。空調の効いていない余裕教室の窓際で、充電をしているのを見たことがある。

A 学校に確認したい。

Q 児童生徒の個人情報や学習データは適切に管理されているか。

A 学習用と校務用のネットワークは切り離されており、学習用に個人情報は無い。本市では、外部の者が児童生徒から学習データを直接収集する運用を行っていない。

Q 子供達の未来を見据えて高いシェア率のウィンドウズを推薦するが。

A 様々な機能を比較し、児童生徒にとって使いやすい適切なものを選びたい。

Q 生成AIの教育現場への活用について市の見解は。

A 教員や児童生徒による生成AIの利用については、国の方針やパイロット校の事例等を見ながら環境整備を進める。例えば、英語学習用AIアプリのデモを実施し、教師や生徒の反応を見て導入を検討したい。



濱口淳也 委員



動画でチェック

◆令和5年度決算について

Q 平成21年の将来負担比率226.3%のときは、実質公債費比率は17.1%であった。それが令和3年118.8%のときに11.9%、令和4年112.3%のときは11.7%、令和5年に関しては102.1%で11.3%と、小松市は健全化に向かっていると言えることができる。将来負担比率の低い自治体はどういう評価になるのか。

A 小松市は、全国の自治体の中では将来負担比率が高いほうではあるが、鉄道の連続立体交差、あるいは各種の公共施設も充実しているなど、公共インフラ整備により市民生活の利便性に寄与している部分も非常に大きいと考えている。

将来負担比率が低いことは、今後の市政運営に安心感をもたらすものであるが、一方、将来にわたる健全財政の堅持を前提として、社会情勢に合わせ求められる投資を行うことは必要なことだと考えている。

Q 令和5年度末の市債残高は。

A 令和5年度末において一般会計で614億円、全会計で1,097億円。増減については、一般会計は前年度比で19億円の減少、全会計では50億円減少している。令和3年度から今年度末までの4年間では、現時点で約120億円改善する見込みとなっている。

自民党こまつ



深田博智 委員



動画でチェック

◆地域連携型こども食堂支援費

Q 補助金申請が少ない理由は。

A 民間等ほかの支援制度の利用や、食品などの配布のみの団体は補助対象から外れること、補助金の申請手続きが煩雑と感じられていることなどが推察される。

Q 本事業を有効に活用いただくための取組は。

A 小松市こども&地域食堂ネットワーク協議会と連携し、さらなる制度周知と、補助金を活用した柔軟な運営方法の検討など、きめ細やかな対応に努めていきたい。



川崎順次 委員



動画でチェック

◆並行在来線運行支援費

Q IRいしかわに替わり、小松の乗降者数の増減は。

A コロナ禍で落ち込んだ分は少し戻ってきているが、それ以前までは戻っていないと推察する。

Q ポムポムプリンが市の応援隊長を務め、子供たちに人気。ラッピングした観光列車を運行させては。

A 並行在来線利用促進策の一つとして面白いアイデアであり、利用促進協議会の中で提案したい。

Q 仮称今江駅設置について、ポムポムプリンのデザイナーは今江町出身であり、今江駅がうってつけ。

A 今江駅をポムポム列車が走るのは非常に面白く、列車に愛着等を持ってもらえる有効な策であり、利用促進協議会に提案したい。

Q 今、世界的に漫画、アニメが非常に人気。小松市の子供たちに夢を与える意味で、小松市立高校にマンガ学科を設置できないか。

A 現在、漫画に特化した取組は実施していないが、既存教育課程の中で、知識や技術の基礎を習得できる環境を一層整えていきたい。

Q 完成予定の駅東地区複合ビルのオフィスに、漫画の制作会社を誘致できないか。

A 万が一の大雨等に対応した非常に強固なビルを目指して造られており、ビルの有効性や強みを話しつつ、漫画などの制作会社を誘致していきたい。

無 会 派



橋本米子 委員



動画でチェック

◆学校給食運営費

Q 民間委託の目的と評価について。

A 民間のノウハウにより、安心安全な給食の提供が目的。約95%の児童生徒が「おいしい」と回答。

Q 経費の縮減額と委託総人数は。

A 縮減額は令和3年度に約1,000万円、調理員は合計74人。

Q 直営校の今後の方針について。

A 正規職員の状況を見ながら、順次進めていく予定。

◆自治体ライドシェア運行費

Q 運行の経緯と開始から10日間の利用実績は。

A 北陸新幹線で本市を訪れた方や、能登半島地震二次避難者の方の移動確保の目的で開始。利用実績は50件。

Q 松東地区乗合タクシー型の重視を。

A 最適な交通モードを組み合わせることが重要。



片山瞬次郎 委員



動画でチェック

◆不妊・不育治療支援費

Q 不妊治療支援の状況について。

A 2021年の国の調査では、不妊の検査や治療を受けた、または現在受けている夫婦の割合は約4.4組に1組。

本件の助成制度を活用して昨年度妊娠された方は申請者の53.4%にあたる71名。一般不妊治療は45名、45回の治療に対し125万円を、生殖補助医療は88名、193回の治療に対し1,687万円を助成。本市助成事業は、年齢制限を設けず保険適用外の治療も対象とし、手厚い支援となっている。



常任委員会 審査報告

予算決算常任委員会

議案第61号 令和6年度小松市一般会計補正予算(第3号)について

■企業誘致推進費 (550千円)

小松駅東地区複合ビルオフィスフロアの募集に係る「自治体×企業マッチングイベント」の出展料です。

オフィスの誘致にあたっては、コンテンツ産業なども視野に入れ、小松市の更なるにぎわい創出につなげてほしいとの意見がありました。

議案第72号 令和5年度小松市歳入歳出決算の認定について

■こまつももしセンター運営費 (33,065千円)

FAQシステムを活用した市庁舎コールセンターの運営業務委託料です。令和5年度から3年間の長期継続契約を締結しており、令和5年度委託料は物価高や人件費高を受け、令和4年度より約6百万円増額したとのことです。昨年度の総電話受付件数は約4万2千件であり、そのうちの約1万件については、ももしセンターで問合せに対する回答を完了しており、職員の業務負担の軽減になっているとのことです。

現状の電話問合せでは、利用時間が平日の日中に限られることから、市民の利便性向上と経費削減を図るため、音声AIなどAI活用の検討を求めました。

■消防施設費のうち一般経費 (36,111千円)

消防本部庁舎や消防団拠点施設の施設修繕などの維持管理費、消防車両や機械器具などの維持管理費であり、これまでも消防の資機材導入のために、優先順位の高いものから計画的に予算要求されているとのことです。

現在、本市の災害支援車は、中消防署に1台配備されているとのことですが、自然災害が頻発化し、活動が長期化するケースなどを考慮して、災害時に必要となる新型車両等の調査を行い、十分な装備や規模の車両配備ができるよう検討を求めました。

また、消防団総合訓練について、今年度は台風の影響により中止となりましたが、その際にも各分団が練習してきたポンプ車操法の成果を発揮できる場を確保す

るなど、実施方法について、若い団員の意見も踏まえ、消防団とも協議の上、検討を求めました。

■心の電話相談費 (1,218千円)

主に、年間354日開設している心の電話相談の運用に関する相談員の謝金であり、令和5年度は2,455件の相談に対応しているとのことです。

悩んでいる人に対して周りの人がサポートできる体制に持っていけるよう、より一層の啓発に取り組んでほしいとの意見がありました。

■訪問型サービス事業費 (12,561千円)

要支援者等が利用する訪問介護、生活援助のサービス給付です。そのうち地域サポートクラブによる生活援助については、地域の住民の支え合いの取組で、日常の買い物や掃除、ごみ出しなどの支援を行うものです。利用者は約100人、協力会員のサポーターは128人とのことです。

地域にサポートできる方がいるということは、とても良いことであり強い地域になると思うので、少なくとも1つの町に必ず1人2人はいるという位の高い目標を持って、サポーターの拡大に努めてほしいとの意見がありました。

■福祉ボランティア推進費 (872千円)

ボランティアグループ連絡協議会及び登録団体の活動を支援するため、助成しているものです。登録団体は、独居高齢者向けや一般者向けのボランティアグループ・サークル等9団体あり、各々活動しているとのことです。

ボランティア団体には、障害のある方に対して活動を行う上で、障害の特性等を学ぶための研修をしてほしいとの意見がありました。

■地域連携型こども食堂支援費 (650千円)

令和5年度の新規事業で、地域と連携して活動するこども食堂の実施に係る経費の補助制度です。開設及び運営に係る経費について、食材料費のほか、消耗品費や燃料費、使用料、損害保険料、備品購入費などを対象とし、20万円の範囲であれば全額を補助するものです。

こども食堂が、その取組に必要としている補助を受け、地域に根差した活動が継続していけるよう、また各団体の個性を尊重した、より柔軟できめ細やかな対応を望む声がありました。

■学校給食運営費 (260,931千円)

小中学校における学校給食調理業務を平成27年度から民間委託しているものです。令和5年度については、4年度に比べて新たに2校の民間委託を行ったものです。

一部の委員から、学校給食調理業務の民間委託に反対する意見がありました。

■未来教育推進基金積立金 (74,005千円)

年額4,000万円については、GIGAスクール推進のための学習用タブレットの更新を見据え、購入費用の一部を基金として5年間分、また、年額3,400万円については、児童生徒用デジタル教材を継続的に利用するため、それぞれ積立てするものです。

GIGA第2期の端末の購入については、現在使用しているWindowsに囚われず、いろいろな端末・OSの中から児童生徒にとってより適切なものを選定することを求めました。

■市立高校活性化推進費 (3,608千円)

主なものとして、美術の特別講師である洋画家への謝金のほか、AI型学習アプリや授業支援アプリの使用料です。

市立高校の魅力をもっと高めるため、漫画やイラスト等特色ある学科を設置することや、人気キャラクターのデザイナーとのタイアップ授業等、新たな取組を検討してほしいとの意見がありました。

■九谷焼ブランド推進費 (27,711千円)

能美市との連携事業である九谷焼の芸術祭「KUTANISM (クタニズム)」の開催や地域おこし協力隊による九谷焼の振興などに係る費用です。

今後は、能美市に加え、赤絵に力を入れている加賀市も交えて、3市で九谷焼の振興に力をいれてほしいとの意見がありました。

■定住促進費 (69,486千円)

小松市への定住を図ることを目的に、一定の条件の下、住宅を新築や購入される方などに対し交付する奨励金や補助金です。

近年の建築費の高騰に対応するため、補助額を上げるべきではないかとの意見がありました。また、財源の一部が国からの交付金であるため、交付金額の更なる増額を国に強く要望すべきであるとの意見がありました。

■農業者物価高騰対策支援費 (8,217千円)

肥料高騰対策に対する支援費です。

ガソリン代を始めとする様々な物価の高騰により、農業者は厳しい状況が続いているため、来期の春肥に対する補助を強く期待しているとの意見がありました。

■グリーンセンター管理運営費 (424,622千円)

及びリサイクルセンター・最終処分場管理運営費 (221,283千円)

エコロジーパークこまつの管理運営委託に係る費用です。

現在、エコロジーパークこまつへのごみの持込は月曜日から土曜日ですが、利用者の利便性を考慮し、また近隣自治体は日曜日に運営しているところも多いため、小松市も日曜日に運営する日を設けてほしいとの意見がありました。

その他として、打木町で栽培しているみょうこう柿について、とても素晴らしく、全国的な販売が期待できるものなので、栽培本数を増やすことや商品開発の支援などに対し予算をつけ、全面的に支援すべきとの意見がありました。

議案第15号 健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

令和5年度決算に基づく健全化判断比率は、実質公債費比率11.3%、将来負担比率102.1%と、前年度より各々0.4ポイント、10.2ポイント改善しているとのこと。また、公営企業会計の指標となる資金不足比率は、いずれの会計においても資金不足がないため、該当なしとの報告がありました。

令和5年度決算については、実質収支黒字額の増加や基金残高の増加、全会計における市債残高の前年度比約50億円減少など、良好な財政状況であり、今後も引き続き、明るくにぎやかなまちづくりのため、次の時代の成長に向けた投資も行いながら、健全な財政運営に努めてほしいとの意見がありました。

総務企画常任委員会

■報告第17号 地方独立行政法人の中期目標に係る業務実績に関する評価結果の報告について

公立小松大学の平成30年度から令和5年度までの6年間にわたる全体評価はA評価と、5段階のうち上から2番目の評価であり、中期目標を達成できているという評価でした。就職内定率100%を継続して達成しており、就